

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和 8 年度～令和 12 年度（5 年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（さがとうぶ） 佐賀東部森林計画区 （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、佐賀県の南東部に位置する佐賀市をはじめとする 8 市 6 町に所在する約 10 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、東部は筑後川で、北部は脊振山等の脊振山地をもって福岡県と境をなし、西部は天山等で佐賀西部森林計画区、南部は経ヶ岳等の多良岳山系をもって長崎県と境をなしている。</p> <p>また、本計画区は、筑後川、嘉瀬川、牛津川等の上流域に位置し、水源かん養保安林が約 84% に達し、下流域の水がめとして重要な役割を担っているほか、優れた森林景観にも恵まれていることから、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>森林の現況は、スギ、ヒノキを主とした針葉樹林約 6,100ha、カシ、クヌギ等の広葉樹林約 2,400ha、針広混交林約 1,300ha となっている。このうち、人工林についてみると蓄積は約 258 万 m<sup>3</sup>、面積は約 6,800ha で 12 齢級をピークとして主伐期とされる 10 齢級以上の割合が約 77% を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えている。</p> <p>これらのことから、多面的機能の持続的発揮を図ることができる多様な森林づくりのほか、適切な間伐や主伐後の確実な更新の実施など、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>さらに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システム、伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽、コンテナ苗植栽、UAV 等の導入などによる造林作業の省力化及び保育作業の低コスト化の取組を図りながら、森林資源の持続的な利用を一層推進して、引き続き社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現に向けて国有林の役割を持続的に果たすことが求められる。</p> <p>本事業では、これまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるためにも広く、地域の林業関係者等の意見を聞きながら、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備及びこれらを効率的に推進するための路網整備に取り組む。</p> <p>加えて、花粉発生源対策の加速化を図るため、スギ人工林において伐採や花粉の少ない苗木の植替えを優先的に実施する。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備 更新面積 223ha</li> <li style="padding-left: 40px;">保育面積 2,348ha</li> <li>路網整備 開設延長 10.9km</li> <li style="padding-left: 40px;">改良延長 11.0km</li> </ul> </li> <li>・ 総事業費 2,027,459 千円 (税抜き 1,843,144 千円)</li> </ul>
費用便益分析	<p>総便益 (B) 9,207,245 千円</p> <p>総費用 (C) 2,993,562 千円</p> <p>分析結果 (B/C) 3.08</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性が認められる。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本事業は、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に資することや、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより、地域の林業・木材産業の振興にも寄与することから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備では、伐採造林一貫作業システム、低密度植栽及びコンテナ苗植栽等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。また、路網整備では森林整備実施箇所へのアクセスや木材運搬が非効率となっている箇所の整備を優先するなどによりコスト削減を図ることとしている。 これらについては、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画等に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備と路線選定により、森林の有する多面的機能の持続的な発揮が十分見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各視点からの評価を踏まえて総合的かつ、客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：佐賀県

施行箇所：佐賀東部森林計画区(佐賀森林管理署)

(単位:千円)

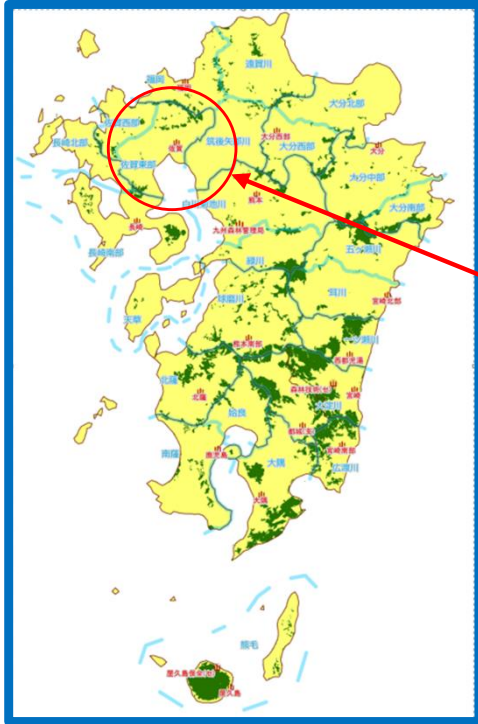
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,338,372	
	流域貯水便益	582,036	
	水質浄化便益	2,508,001	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,982,087	
環境保全便益	炭素固定便益	516,691	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	23,441	
	木材利用増進便益	15,829	
	木材生産確保・増進便益	602,614	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	638,174	
総 便 益 (B)		9,207,245	
総 費 用 (C)		2,993,562	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,207,245}{2,993,562} = 3.08$		

参考

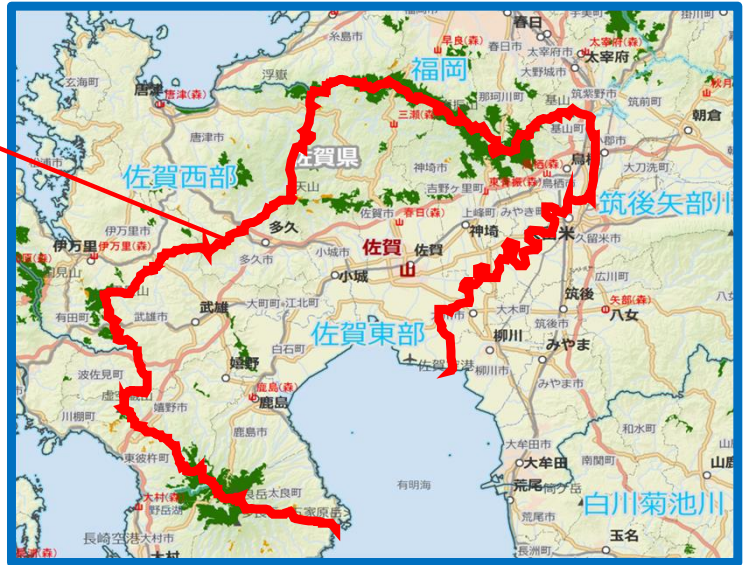
費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{14,239,899}{3,791,479} = 3.76$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{18,222,472}{4,387,051} = 4.15$

# 令和7年度 林野公共事業評価 (森林環境保全整備事業)

## 「令和8年度 新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図



佐賀東部森林計画区  
(佐賀森林管理署管内)



森林整備

路網整備

集材

擁壁の床堀



運材

路網改良

